

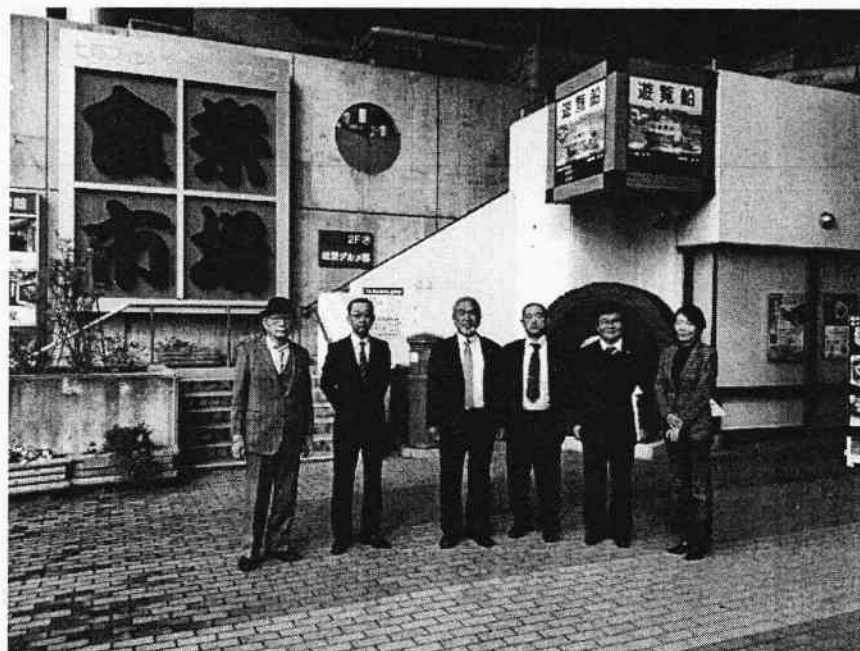
## 新風会行政視察報告書

新風会 鈴木一彦

- 1、視察日時 平成30年 11月12日から11月14日
- 2、視察地 富山県富山市・石川県七尾市・石川県輪島市
- 3、視察項目  
富山県富山市 「セルフ&スマートモデル街区の整備について」  
石川県七尾市 「能登食祭市場の取り組みについて」  
石川県輪島市 「生涯活躍のまちプロジェクトについて」

### 4、視察目的

本市においては、将来的に少子高齢化による人口減少、それに伴う税収減の克服が課題となっている。対策として、税収増加を見込むため道の駅をはじめとする新たな観光地の創出が必要になってくる。また、高齢者の住みやすい街を構築してゆく必要がある。一方で、人口増加を目指すためには若者の増加も大きな課題である。これらの課題を解決するための調査、研究として上記の視察先を選定した。



## 5、視察の内容

富山県富山市 「セルフ&スマートモデル街区の整備について

### 目的

公共交通沿線の低未利用地等において、環境に優しく、安心・安全で快適な生活を享受できるモデル街区を整備し、公共交通沿線での利便性の高い暮らしや環境等に配慮した質の高い住宅供給の促進を図る

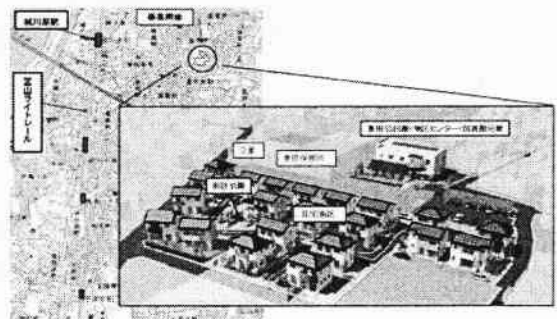
### 〔豊田公民館の特徴〕

- ・省エネルギー性の高い設備や自然エネルギーを活用した設備を導入
- ・停電時の電力供給として、マイクロコージェネレーションシステムと太陽光発電設備、家庭用蓄電池を組み合わせた災害に強い施設
- ・エネルギーの利用状況の「見える化」を図り、利用者の環境意識向上を促す



### 〔住宅街区の特徴〕

- ・全戸に太陽光発電システム、家庭用リチウムイオン蓄電池、家庭用燃料電池の3電池を搭載
- ・街区全体での一次消費エネルギーの収支をゼロにする「ネット・ゼロ・エネルギータウン」を目指し、エネルギーの「見える化」を実現



- ・災害対策機能を備えた公園を整備
- ・良好な住環境を形成するため電線類を地中化

石川県七尾市 「能登食祭市場の取り組みについて」

## 施設の沿革

七尾市の姉妹都市であるモントレイが位置するアメリカ合衆国カリフォルニア州の沿岸都市に多く見られる観光地「フィッシャーマンズワーフ」を参考に建設された。

隣接する七尾マリンパークでは毎年夏にモントレイ・ジャズフェスティバル・イン・能登が開催されている。1985年（昭和60年）に社団法人七尾青年会議所が6回シリーズで開催した市民大学講座で、七尾のこれから進むべきみちを模索し、「港を中心としたまちづくり」というキーワードを得た。古くから香島津と呼ばれ天然の良港として栄えた七尾港を財産として、港からまちを再生していく「七尾マリンシティ構想」を立案し、この構想の推進母体として七尾マリンシティ推進協議会が設立された。

同構想における優先順位の高い事業としてフィッシャーマンズワーフ建設計画を挙げ、その実現に向けて能登国際テント村という構想の疑似体験イベントを継続する一方で、運営主体として第三セクター株式会社香島津を設立した。

こうして、1991年（平成3年）の第3回能登国際テント村と同時に、七尾フィッシャーマンズワーフ「能登食祭市場」がオープンし、かつてのフェリー埠頭が、年間約90万人が訪れる交流拠点に生まれ変わった。

2003年（平成15年）には国土交通省管轄のみなとオアシスに登録され、2009年（平成21年）3月12日には、同じ国土交通省管轄の道の駅に登録された。



## 施設概要

- 開館：平成3年9月
- 所在地：石川県七尾市府中町員外13-1
- 施設面積：3,520,26平方メートル
- 延べ床面積：5,384,25平方メートル



## 石川県輪島市

### 生涯活躍のまちプロジェクトについて

#### 内容

輪島市は06年に約3万人だった人口が16年時点では約2万8000人に減少。高齢化率も高い。石川県の調査によると、15年10月時点で全人口に占める65歳以上の人口比率は43.3%。全国平均の26.6%を大きく上回る。

中心市街地の空洞化も深刻だ。07年に発生した能登半島地震では1500棟以上の住宅が全半壊。能登半島地震以降、空き家が目立つようになった。

人口減や空洞化に対する市の危機感は強く、内閣府が地方再生プランを支援する「生涯活躍のまち」事業に名乗りを上げ、先進自治体に選ばれた。この時に市が白羽の矢を立てたのが、08年ごろから福祉を軸に面的な街づくりを仕掛けていた佛子園だ。それまでの実績を評価して、市は「生涯活躍のまち」の事業主として佛子園を選んだ。

輪島市では、市街地の空き家・空き地を活用した多世代交流施設や福祉施設など多世代型地域コミュニティの形成を目指す「地域の実情に即した最先端のタウン型生涯活躍のまちづくり」、コンパクトな市街地でのエリアをつなぐ新交通システムの導入、若者や青年海外協力隊経験者、高齢者等の移住者による新たな目線での本物の魅力を発見する「社会的要素に左右されない魅力的な地域づくり」に取り組んでいる。

既に開設されているサービス付き高齢者住宅、グループホーム、ショートステイとあわせて、平成30年4月には、多世代交流拠点施設のほか、地域開放型ウェルネス施設、子育て支援施設のオープンを迎えます！



## 質疑

富山県富山市 「セルフ&スマートモデル街区の整備について」

質問 エネルギー見える化の導入の効果は

回答 各住戸に HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）を採用するとともに、各戸からデータを収集し、まち全体のエネルギーを見える化できる「SMA×ECO クラウド」を導入します。住宅街区にお住まいの方は、パソコンやタブレット、スマートフォンにより、まち全体のエネルギー利用状況や履歴を見ることができ、エネルギー利用状況を常に把握し、省エネの意識付けの効果があります。

石川県七尾市 「能登食祭市場の取り組みについて」

質問 フィッシャーマンズワープについて詳しく説明をお願いします

回答 アメリカ合衆国カリフォルニア州のサンフランシスコにある。「漁師の波止場」の名の通り、19世紀半ばのゴールドラッシュでサンフランシスコが大きな町になった時期以来の漁港で、サンフランシスコ海運歴史国立公園など様々な観光施設が立ち並びにぎわっている。

石川県輪島市 「生涯活躍のまちプロジェクトについて」

質問 社会福祉法人佛子園と連携した経緯について

回答 社会福祉法人佛子園は、サービス付き高齢者住宅や児童入所施設、障害者や高齢者の支援施設や学生住宅のほか、NPOや企業などが入居する「Share(シェア)金沢」を運営する社会福祉法人。日本政府が地方創生に向けて推進する「生涯活躍のまち」のモデルとして取り上げられ全国から注目を集めているなどの実績を重視したから。

## 感想（本市に生かすべきこと）

### 富山市

公共交通沿線の低未利用地等において、環境に優しく、安心・安全で快適な生活の場を形成するという発想は素晴らしいと思った。環境面の配慮、空き家対策、公共用地の跡地利用など様々な面で効果が期待できる。豊田小学校跡地に、交番、保育所、公民館、図書館等の公共施設を集約し、「質の高い生活環境」を提供する住宅街区をPPP（公民連携）の手法にて一体的な整備が行われていた。但し、物件に関して若干の割高感が本市に採用するとき課題になると感じた。町の出来としては素晴らしいと思う。公共用の未利用物件が多い本市でも研究し取り組むべきである。

### 七尾市

2009年（平成21年）3月12日には、国土交通省管轄の道の駅に登録されたこの施設は、観光地の能登に位置するという有利な立地の元、新鮮な食材を販売し成功している事例である。本市も霞ヶ浦の観光に力を注ぎ、霞ヶ浦で一日楽しめる場所づくりと観光土産を買える場所は必要であると感じた。

また、七尾市の姉妹都市であるモントレイが位置するアメリカ合衆国カリフォルニア州の沿岸都市に多く見られる観光地「フィッシャーマンズワーフ」を参考に建設された。本市もパロアルト市との姉妹都市にあるので、ぜひ参考にして姉妹都市の良いところを参考に観光地づくりに取り組むべきである。

### 輪島市

輪島市版生涯活躍のまちの特徴は、空き家・空き地などの既存ストック活用している点で、空き家の目立つ本市においても、空き家の活用は非常に参考になる。地域それぞれの魅力を出し、持続的な地域をつくる「地方創生」、高齢者が元気なうちに入居して社会活動に参加しながら生活し、介護・医療が必要になればケアを受けられる「生涯活躍のまち」をつくる取り組みは、本市でも早急に取り入れるべきである。サービス付き高齢者住宅や児童入所施設、障がい者や高齢者の支援施設や学生住宅のほか、NPOや企業などが入居し、高齢者や若者、障がい者などが共存する「Share(シェア)金沢」（石川県金沢市）の運営実績がある社会福祉法人佛子園と連携した取り組みは、地域活性化にも生かされると感じた。官民の連携は重要である。